

平成26年度 森林技術・支援センター概要・取組状況 平成27年3月現在



主な取組

- I 技術開発
- II 森林総合監理士
(フォレスター)の
育成
- III 小規模林家支援

【新見市の木「ヒノキ」の株と新見市の鳥「ウグイス」をデザイン】

- 平成 3年2月 新見営林署として移転(新築)
- 平成 7年3月 森林技術センターに改組
- 平成18年4月 市内森林事務所を配置
- 平成25年4月 森林技術・支援センター

平成24年11月に植栽した
ヒノキコンテナ苗(三光山)
※植栽時に比べ根元径及
び苗高は約2倍



I 技術開発

技術開発NO1 (昭和63年度～平成65年度)

課題: 育成複層林施業技術の開発
場所: 三室国有林704わ・る1,2林小班



実施計画: 定点撮影、積算日射量調査

6課題の技術開発を実施 また、5自主課題の経過観察



技術開発NO61 (平成22年度～平成31年度)

課題: 低コスト路網作設後の維持管理等に
係るモニタリング調査

場所: 古谷国有林527い1林小班

平成22年度



平成25年度



実施計画: 定点観測、気象等調査

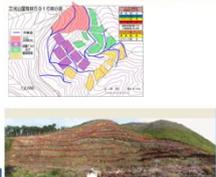
26中間報告

技術開発NO63 (平成24年度～平成28年度)

課題: 伐採・植付一貫作業下でのコンテナ
苗等の活着・育成実証
場所: 三室国有林702い1林小班外

三室一貫作業 伐採～搬出～植付
(春・夏・秋植え)

三光山 低コスト造林
植付(春・夏・秋植え)～下刈り



実施計画: 生長量調査、下刈り、春植え等

26中間報告

技術開発NO55 (平成19年度～平成28年度)

課題: 天然性広葉樹を活用した低コストな針広
混交林造成技術の開発

場所: 古谷国有林527へ林小班

生長量調査プロット設定図



実施計画: 生長量調査

技術開発NO38 (平成11年度～平成42年度)

課題: 植栽本数密度別の林分構造変化
場所: 釜谷国有林596ふ林小班



実施計画: 経過観察

技術開発NO35 (平成23年度～平成32年度)

課題: 列状間伐施業における林況変化把握と
経営的評価

場所: 水島山国有林603か林小班外



列状間伐区 定性間伐区 対照区



実施計画: 間伐の実施、功程調査、相対照度測定

課題NO.63 伐採・植付一貫作業下でのコンテナ苗等の活着・育成実証

開発期間 平成24～28年度 (当初の課題名: 軽量ポット苗等による林業再生を目指した育苗・造林技術の開発)

場所: 岡山県新見市三光山国有林591林班

経過: 平成24年11月植栽、平成26年7月2回目の下刈を実施、生長量・発根(堀取り)調査等を実施

スギ普通苗、コンテナ苗等の植栽



スギ普通苗 1
(挿木二年生 品種: 不明)

生育状況
↓
抜き取り
洗浄後

	平成24年秋 (mm)	平成25年秋 (cm)
根元径	6.4	10.3
苗長	45.2	60.0

根元のアップ

- 根がよく伸びている

スギコンテナ苗 1
(実生二年生 品種: 不明)

生育状況
↓
抜き取り
洗浄後

	平成24年秋 (mm)	平成25年秋 (cm)
根元径	4.1	8.2
苗長	41.3	50.0

根元のアップ

- 根鉢の形跡が残っていることから外側ではなく、内側の根が良く伸びたと考えられる

ヒノキ普通苗、コンテナ苗等の植栽



ヒノキコンテナ苗 1
(実生二年生 品種: 不明)

生育状況
↓
抜き取り
洗浄後

	平成24年秋 (mm)	平成25年秋 (cm)
根元径	3.3	7.9
苗長	33.4	58

根元のアップ

- 根鉢の形跡が残っていることから外側ではなく、内側の根が良く伸びたと考えられる

ヒノキ普通苗 1
(実生二年生 品種: 不明)

生育状況
↓
抜き取り
洗浄後

	平成24年秋 (mm)	平成25年秋 (cm)
根元径	4.1	10.9
苗長	30.5	68

根元のアップ

- 根元径・苗長ともに密近く成長した

課題NO.63 伐採・植付一貫作業下でのコンテナ苗等の活着・育成実証（森林総研と連携）

先駆的森林・林業技術実証事業試験地 事業期間：平成25～27年度

場所：岡山県新見市三光山国有林591林班及び三室国有林702林班

三室試験地 経過：平成25年度伐採～植栽の一貫作業

植栽は、ヒノキ(コンテナ・セラミック・普通)苗を、夏・秋・春(平成26年5月)に行い、活着・植生・成長量調査を実施

平成26年4月9日の状況



平成26年8月4日の状況



生長量調査



伐採の翌年における下草の生長は見られず下刈りを省略

三光山試験地 経過：平成22～23年度伐採、平成25年度 ヒノキ(コンテナ・セラミック・普通)苗を、夏・秋、平成26年

5月春植えを行い活着調査、下刈りの有無による・植生・成長量調査を実施

無下刈り区



平成26年5月20日の状況



平成26年8月1日の状況

植生・生長量調査



シカ対策



斜め張り(参考:埼玉県資料)を参考に、上側:雪対策として、支柱に控え索を付けることにより、ネットの転倒防止。下側:立木を支柱として利用し、コスト削減。

Ⅱ 森林総合監理士（フォレスター）の育成

技術者育成研修

岡山県新見市干子地区の森林



・資源循環利用構想

森林資源を活用して地域の活性化を検討
林道・間伐等の整備計画、木材の販売戦略

・森づくり構想 現状の林分を分析、
将来の森林の姿を構想、今後の森
林施業を検討



森林資源の現況を遠望



林内の調査



林分の内容を分析

実践研修(現地検討会)

講義名：低コスト造林への取り組みに向けた技術者としての在り方

- ・低コスト造林現地検討

三室国有林(一括発注)、三光山国有林において昨年の夏(8月)・秋(11月)・春(今年5月)に、コンテナ苗等の植栽後における生育状況等の確認・今後の施業のあり方を検討

- ・低コスト造林、獣害対策

府県・国有林の取組内容、成果、問題点等を検討



コンテナ苗の説明



植栽1年後の発根調査



コンテナ苗の植栽

低コスト造林現地検討会（森林総研と連携）

平成26年10月9～10日（三光山試験地）



コンテナ苗の生長状況

左からH25夏植え、H25秋植え、H26春植え



Ⅲ 小規模林家支援

岡山県新見市が小規模林家自らによる森林整備の推進等を支援する施策を実施するにあたり、地元林家、有識者、関係機関が一体となってニーズに合った実現可能な政策提言を行い、市がその提言を施策展開へ反映させる取組を進めることとしており、局署等はその中で積極的な役割を果たしています。

(取組み方向)

【新見市】

- 国や県の各種支援制度を活用しながら、就労促進、木質バイオマスによる地域熱源供給施設や共同木材加工施設の設置、地域産物販売所の整備など総合的な施策を平成27年度から展開



自伐林家による地域コミュニティの維持、中国地方の小規模林家の育成拠点化



直接・間接に強力に支援

【近畿中国森林管理局】

- ① 安定的な木材供給や就労場所の提供を確保するための立木販売の実施
 - ② 自伐林家に適した施業や路網作設・配置などの技術研修の実施
- などにつき、平成26年度中に具体的な検討



民有林と国有林の連携による森林林業の再生

○平成26年3月、岡山県、新見市、森林組合、森林管理局・署、中国四国農政局、木材共販所、有識者等からなる協議会を設立

○平成26年5月、7月、8月、11月に作業部会（打合せ会）を開催

○平成27年1月作業部会（川上と川下の取組を個別に検討）、2月協議会を開催予定



新見市「小規模林家育成プロジェクト」イメージ

国有林

- ・研修の実施
- ・活動の場としての立木販売

小規模林家による森林の手入れ

- 良好な森林づくり
- 雇用の創出
- 地域の活性化

林地残材

地域通貨

A材、B材

市場、製材工場等

製材工場端材、建築廃材

チップ・ペレット製造施設

C材（木の駅）

薪製造施設

都市部

宅配ビジネス

直売店・アンテナショップ

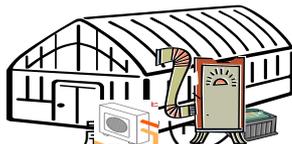
熱利用以外

- チップ等
敷料、堆肥、マルチ、ボード
- おが粉
キノコ菌床、梱包材等
- 炭
土壌改良材、浄化材等

熱利用 ボイラー ストーブ



牛舎



旅館、温泉、公共施設、住宅等

派生的取組



キノコ、薬草、木工品、ジビエ、
製油、漆 森林ツーリズム、森林
セラピー、森林環境教育等¹⁰

協議会メンバーで自伐林家所有の山林を
視察、自伐林家が抱える問題点等を把握
平成26年7月14日



新見市小花粉スギ植樹式において
コンテナ苗の説明及び植樹指導
平成26年11月10日

